

令和2年度ヒラメ新規加入量調査結果

県漁業調査指導船「開洋」にて、水工研II型のソリネットによるヒラメ新規加入量調査を行いました。この調査はヒラメの0歳魚の現存量を調べることによって、翌年秋以降に漁獲加入するヒラメの資源水準を把握することを目的としており、太平洋北部系群では青森県から茨城県の各水産試験場と水産資源研究所底魚第2グループが共同で実施しています。宮城県では2002年以降、8月から11月の各月1回、石巻湾北部の4定点で調査をしています(図1)。全地点において採捕された全長組成は、8月20日には3~7cm, 9月16日は5~9cmと13~15cm, 10月8日には9~13cm, 11月6日には9~13cmの稚魚が主体でした(図2)。今回の調査における平均採捕尾数は、佐須浜では2010年, 2015年, 2017年よりは低いものの、2014年以降の高水準を保っていました。浜市と矢本は低水準でしたが、長浜では過去最高の採捕尾数となりました(図3)。また、資源評価事業で推定したヒラメ成魚の資源水準・動向は**高位・減少**となっており、今後の資源動向を注視する必要があります(図4)。その他の詳細なデータにつきましては表1をご覧ください。

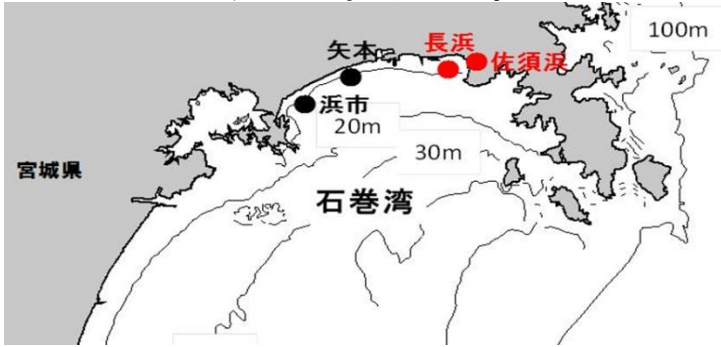


図1. 調査位置

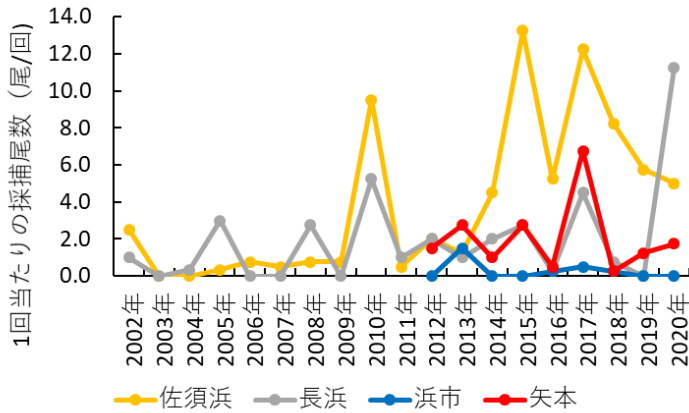


図3. 平均採捕尾数の推移

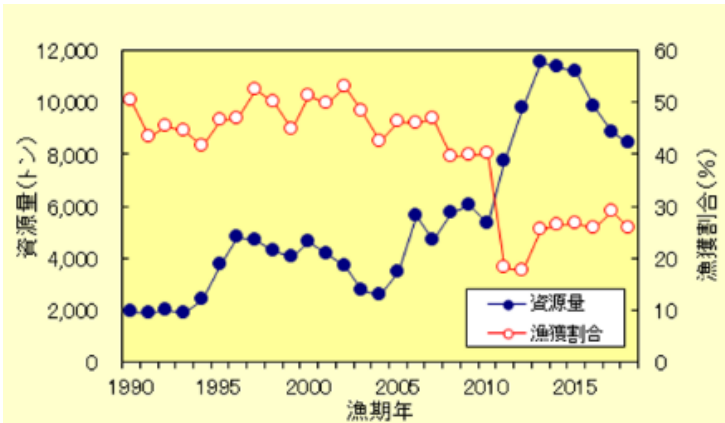


図4. 推定された資源量の推移
(国立研究開発法人水産研究・教育機構HP令和2年度資源評価報告書より引用)

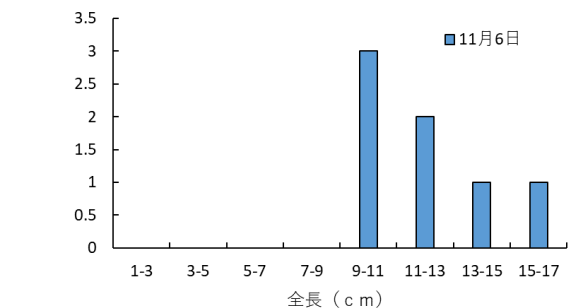
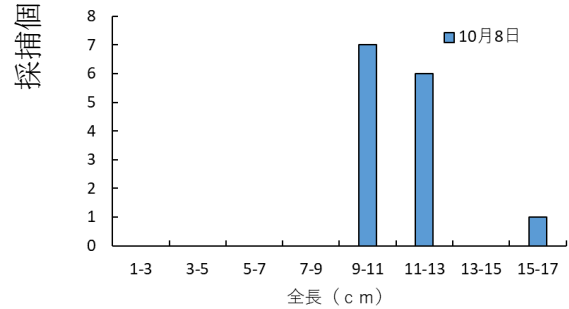
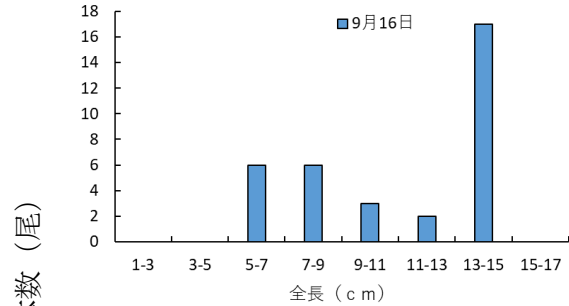
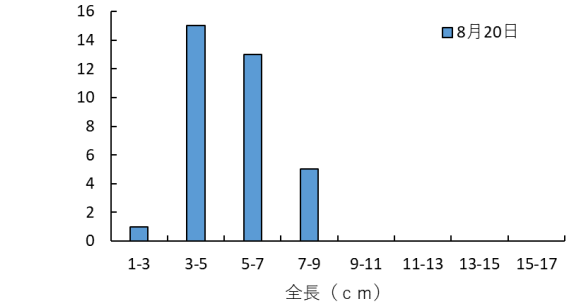


図2. 全地点で採捕された稚魚の全長組成の推移

表1. 各地点の調査データ

調査日	調査点	測定層	水深(m)	水温(°C)	DO(mg/L)	ヒラメ尾数(尾)	
						0歳	1歳以上
2020/8/20	浜市	表層	0.0	26.4	8.2	0	0
		B-1	6.6	20.3	7.5		
2020/9/16	浜市	表層	0.0	24.5	8.7	0	0
		B-1	6.4	22.1	4.8		
2020/10/8	浜市	表層	0.0	20.0	7.4	0	0
		B-1	6.8	20.4	6.9		
2020/11/6	浜市	表層	0.0	17.2	欠測	0	0
		B-1	7.4	17.1			

調査日	調査点	測定層	水深(m)	水温(°C)	DO(mg/L)	ヒラメ尾数(尾)	
						0歳	1歳以上
2020/8/20	矢本	表層	0.0	27.3	8.5	0	0
		B-1	8.5	19.5	7.4		
2020/9/16	矢本	表層	0.0	25.0	7.9	7	0
		B-1	7.6	21.9	5.5		
2020/10/8	矢本	表層	0.0	19.5	7.3	0	0
		B-1	8.6	20.5	4.5		
2020/11/6	矢本	表層	0.0	15.3	7.8	0	0
		B-1	8.6	16.7	6.6		

調査日	調査点	測定層	水深(m)	水温(°C)	DO(mg/L)	ヒラメ尾数(尾)	
						0歳	1歳以上
2020/8/20	長浜	表層	0.0	26.1	9.3	31	1
		B-1	4.8	21.7	7.9		
2020/9/16	長浜	表層	0.0	23.9	9.3	7	1
		B-1	6.0	22.3	5.8		
2020/10/8	長浜	表層	0.0	19.8	7.0	4	0
		B-1	5.6	20.3	5.7		
2020/11/6	長浜	表層	0.0	16.2	7.2	3	0
		B-1	5.4	16.1	7.4		

調査日	調査点	測定層	水深(m)	水温(°C)	DO(mg/L)	ヒラメ尾数(尾)	
						0歳	1歳以上
2020/8/20	佐須浜	表層	0.0	27.0	8.4	3	0
		B-1	4.1	20.9	7.8		
2020/9/16	佐須浜	表層	0.0	24.2	8.8	3	0
		B-1	5.2	22.2	6.3		
2020/10/8	佐須浜	表層	0.0	20.0	5.6	10	1
		B-1	6.6	20.1	5.6		
2020/11/6	佐須浜	表層	0.0	16.5	6.9	4	0
		B-1	5.0	16.5	6.9		